

事後評価結果（令和元年度）

担当課：東北地方整備局 道路計画第一課
 担当課長名：舟波 昭一

事業名	一般国道101号 <small>ごしょがわらにし</small> 五所川原西バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県五所川原市大字 <small>ごしょがわら</small> 太刀打 <small>たちうち</small> 至：青森県つがる市 <small>かしわいせおかもと</small> 柏稲盛岡本	延長	3.8 km		

事業概要

一般国道101号は、青森市を起点とし、日本海沿岸部を經由して秋田市に至る延長約282kmの主要な幹線道路である。

事業の目的・必要性

五所川原西バイパスは、津軽自動車道の一部を形成し、青森県五所川原市大字太刀打～同県つがる市柏稲盛岡本に至る延長3.8kmの自動車専用道路である。

事業概要図

【位置図】

一般国道101号
五所川原西バイパス

青森県
秋田県 岩手県
山形県 宮城県
福島県

【事業概要】

一般国道101号
五所川原西バイパス
H26.11開通
L = 3.8km

交通量データ：
 T' 15=8,252台/日
 T' 15=5,430台/日
 T' 15=14,135台/日
 T' 15=11,317台/日
 T' 15=14,316台/日
 T' 15=7,771台/日
 T' 15=7,499台/日
 T' 15=11,116台/日

【標準横断図】

12.0(2車線)
 2.5 3.5 3.5 2.5
 [単位：m]

事業の 効果 等	事業期間	事業化	平成16年度	用地着手	平成18年度	供用年	(当初)H25	変動	1.1倍
		都市計画決定	一年度	工事着手	平成19年度	(暫定/完成)	(実績) - / H26		
	事業費	計画時	(名目値) - / 92億円		実績	(名目値) - / 138億円		変動	1.5倍
		(暫定/完成)	(実質値) - / 127億円		(暫定/完成)	(実質値) - / 140億円			
交通量 (当該路線)	計画時	(H15)		実績	(R1)		変動	50%	
	(暫定/完成)	- / 12,800台/日		(暫定/完成)	- / 6,400台/日				
旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	30.0km/h → 64.6km/h			交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)		29件/年 → 21件/年 (H23-H26平均) (H26-H29平均)			

費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C 1.9	総費用 : 159億円 事業費 : 144億円 維持管理費 : 14億円	総便益 : 303億円 走行時間短縮便益 : 242億円 走行経費減少便益 : 28億円 交通事故減少便益 : 33億円	基準年 : 平成25年
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C 1.3	総費用 : 204億円 事業費 : 190億円 維持管理費 : 14億円	総便益 : 255億円 走行時間短縮便益 : 211億円 走行経費減少便益 : 35億円 交通事故減少便益 : 8.9億円	基準年 : 令和元年
事業遅延によるコスト増		費用増加額 : —	便益減少額 : —	
事業遅延の理由 ・特になし				
客観的評価指標に対応する事後評価項目 ①現道等における混雑改善状況 ・五所川原市街地の主要渋滞箇所2箇所解除(姥范交差点、五所川原警察署前交差点) ②地方管理空港へのアクセス向上 ・鱈ヶ沢町～青森空港間の所要時間 整備前:65分→整備後:61分 ③中心都市へのアクセス向上 ・つがる市～青森市間の所要時間 整備前:55分→整備後:47分 ④現道等における安全性向上の状況 ・対象区間の現道における死傷事故件数(H23-H26:88件/3年⇒H26-H29:64件/3年) 他11項目に該当				
その他評価すべきと判断した項目 ・特になし				
事業による 環境変化	環境影響評価に対応する項目 ・環境影響評価の対象外事業である			
	その他評価すべきと判断した項目 ・特になし			
事業評価監視委員会の意見 ・事業当初の目的に対して効果を発現しており、対応方針(案)のとおり、「今後の事後評価及び改善措置の必要性はない」は妥当。				
事業を巡る社会経済情勢等の変化 ○新幹線の整備状況 ・東北新幹線 平成22年12月4日 全線開業(八戸～新青森) 延長 81.8km ・北海道新幹線 平成28年3月26日 開業(新青森～新函館北斗) 延長 148.8km ○高規格幹線道路の整備状況 ・津軽自動車道 平成30年3月 柏浮田道路(つがる市木造越水～つがる柏IC) 事業化 延長12.3km ・津軽自動車道 平成31年3月 鱈ヶ沢道路全線開通 延長3.7km ○一般道路の整備状況 ・一般国道7号青森西バイパス(Ⅱ期) 平成24年11月 4車線開通 延長4.3km				
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 ・事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価の必要性はない。 ・想定された効果についても発揮されており、当面、改善措置の必要性は無い。				
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 ・当該事業の整備目的について、効果発現を確認できており、事業評価手法の手直しの必要はない。 なお、今後のネットワーク完成に当たり、今回同様ネットワーク全体での効果(特にストック効果)の検証に努める。				
その他特記事項 ・特になし				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。